

RS アセットアドバイザーズ×芙蓉総合リース 系統用蓄電池事業で初の協業

RS アセットアドバイザーズ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：平林裕二）と芙蓉総合リース株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：織田寛明）は、このたび大分県において新たな系統用蓄電池事業を実施することで合意いたしました。本事業は、両社にとって系統用蓄電池事業における初の協業案件となります。

<九州における蓄電池事業の意義>

九州地方は日本国内でも再生可能エネルギーの導入が特に進んでおり、中でも太陽光発電の普及が顕著です。一方で、天候や時間帯による発電量の変動が大きく、電力需給のバランスを保つことが大きな課題となっています。本事業では、系統用蓄電池を活用し、九州の再生可能エネルギーを最大限に活かしながら電力の安定供給に寄与し、持続可能なエネルギー社会の実現を目指してまいります。

<事業の概要>

本事業では、大分県白杵市に出力 1,959.9kW、容量 8,340kWh の大規模蓄電池システムを設置し、2026年5月の運転開始を予定しています。両社の役割としては、RS アセットアドバイザーズが事業用地の選定、取得交渉、電力系統の確保、事業計画の作成など開発業務、及び完成後の蓄電所の運営管理を担当します。芙蓉総合リースは、蓄電池メーカー・アグリゲーターの選定、蓄電所の単独保有および完成後の事業運用を担います。

<プロジェクト概要>

事業地：大分県白杵市

定格出力：1,959.9kW

定格容量：8,340kWh

蓄電池方式：リチウムイオン電池

運転開始予定：2026年5月

<今後の展望>

RS アセットアドバイザーズは、系統用蓄電池事業の開発・運営に特化した企業として、蓄電池を活用したエネルギーインフラの最適化を進めてまいります。また、芙蓉総合リースは、「エネルギー環境」に経営資源を集中投下する成長ドライバーのひとつに位置付け、国内外の再エネ事業の取り組みを拡大すると共に、電力需給の安定化と再エネの主力電源化に必要な不可欠な蓄電池事業にも積極的に参画することで、再エネの更なる普及・拡大と脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

RS アセットアドバイザーズと芙蓉総合リースは、本事業を皮切りに、国内のエネルギー安定供給に貢献する系統用蓄電池事業の更なる取り組みを目指します。

■芙蓉総合リース株式会社 概要

所在地：東京都千代田区麹町5丁目1-1 住友不動産麹町ガーデンタワー

代表者：代表取締役社長 織田寛明

設立年月：1969年5月

事業内容：リース事業、ファイナンス事業、その他関連事業

【お問い合わせ先】

RS アセットアドバイザーズ株式会社

TEL：03-5843-1511 MAIL：rsaa@rs-holdings.co.jp